



金津中学校の入学式

# あわら 市議会だより

第20号

平成21年  
4月15日 発行



本荘幼稚園の入園式

## おもな項目

3月定例会報告	2p
委員会報告	3p
一般質問	8p
議会日誌・ふるさと探訪	14p

# 3月定例会

## ◆市長に対する 問責決議案を賛成多数で可決

### ●問責決議

芦原中学校の施設整備については、平成20年2月21日召集の第28回あわらし市議会臨時会において、大規模改修とし、耐震診断結果によっては、一部改築とすることで、あわらし市としての団体意思を決定したものである。

その後、この団体意思決定に基づき、中学校建設調査特別委員会、教育厚生常任委員会及び全員協議会などで、種々検討した結果、平成20年11月17日召集の第34回あわらし市議会臨時会において、耐震補強・大規模改修としたりリニューアル整備の基本計画設計業務委託料予算を市長提出の原案どおり可決されたものである。議会としては、一連の経緯の中で、改修と認識するものである。

地方議会は、憲法で保障されている議事機関として、条例の制定、改廃にとどまらず、ひろく行財政全般にわたる具体的事務の処理についても、意思決定機関としての権能を持ち、地方公共団体の長は、議会の議決を経た上で、諸々の事務を執行することとされ、独断専行を許さないとされている。

しかしながら、錯誤に基づき提案したものとかが、改築・改修は執行権の範囲だとか、さらには、改築か、改修かという議会の明確な意思決定がされていないとか、このような市長の発言は、議会制民主主義の崩壊、さらには、議会の権威を著しく失墜させ、市政の混乱と停滞を招き、市民に大きな不安を与えるものである。

よって、本市議会は橋本市長に対し、猛省を促すとともに、市長としての責任を強く問うものである。

## ◆芦原中学校施設整備に関する決議案を賛成多数で可決 「芦原中学校の整備は大改修」議会の意思が明確に

### ●芦原中学校施設整備に関する決議

平成20年2月21日召集の第28回あわらし市議会臨時会において、議案第6号「新市建設計画の変更」についてに対する修正動議が可決したところである。

内容としては、少子高齢化、経済情勢の先行き不透明などにより、将来の財政不安がどうしても払拭されないことから、芦原中学校の施設整備については、大規模改修とし、耐震診断結果によっては、一部改築としたもので、あわらし市としての団体意思を決定したものである。

よって、この団体意思決定に基づき、種々検討した結果、平成20年11月17日召集の第34回あわらし市議会臨時会において、芦原中学校の施設整備の内容としては、耐震補強・大規模改修としたりリニューアル整備の基本計画設計業務委託料予算を市長提出の原案どおり可決されたものである。

しかしながら、市長は、改築・改修という議会の明確な意思決定がされていないとのことである。議会としては、一連の経緯の中で、当然のことながら、改修と認識しているところであるが、誠に残念ながら、あえて言うならば、芦原中学校の整備は、校舎・体育館ともに改築ではなく、大改修とするものである。

よって、この整備方針のもと、早期に完成するよう全力を挙げて実施するよう強く要請する。

尚、市長は、去る3月9日の本会議において、錯誤に基づき提案したものだとか、執行権の範囲などと議会制民主主義そのものを踏み、議会の権威を著しく失墜させるものである。よって、本会議で発した発言については、本会議で撤回陳謝されるよう求めるものである。

# 常任委員会報告

## 総務常任委員会

### ●平成20年度一般会計 補正予算(第7号)

監理課所管では、土地売払収入723万2千円の帳簿価格については、固定資産税の評価額に時価倍率等乗じて得た額を売却価格としており、帳簿価格はないとのこと。

契約・業者管理システム関係の委託料等が減額されているが、電子入札の導入に伴い、入札方法はどのようなのかとの問いには、21年度から県のシステムを利用して導入し、設計金額3千500万円以上が対象になるとのことです。

### ●平成21年度一般会計 予算

総務課所管では、国際交流活動事業59万3千円、

防災行政無線整備工事2億3千300万円、防炎資材等整備事業補助金25万円、嶺北消防組合負担金4億7千737万円等を計上しています。

政策課所管では、みずといて湯の文化連邦推進協議会負担金71万2千円、ケーブルテレビ番組制作委託料120万円、福井坂井地区広域市町村圏事務組合負担金9千828万5千円等を計上しています。

監理課所管では、契約・業者管理システムリース料72万2千円、福井県電子調達システム共同利用負担金141万4千円等を計上しています。

財政課所管では、公債費で元金、利子合わせて14億4千879万円等を計上しています。

避難施設でなく、一次避難場所へ配備すべきではないかとの問いには、市全体で県の備蓄基準を達成することを当面の目的とし、一次避難場所への配備については、自主防災組織を立ち上げ、防災組織での備蓄を積極的に推進し、補助もしていくとのこと。

防災行政無線整備工事の整備年度、整備内容については、平成21、22年度の2カ年計画で財団法人近畿移動無線センターがサービスしているデジタルLMCA無線を利用し、既設の同報系防災行政無線整備と連動するシステムを構築するもので、21年度には、旧金津地区を主として、残りは、22年度において旧芦原地区を主として整備する計画とすることです。

## ◆平成21年度予算総額 229億6,155万円に

第37回3月定例会は、3月2日から24日まで、23日間の会期で開催されました。

初日は、平成20年度補正予算及び平成21年度当初予算に関する22議案、条例の制定または改廃に関する20議案、市有財産の無償譲渡に関する2議案、公の施設の指定管理者の指定に関する9議案、市道路線の認定に関する1議案及び人事に関する1議案の合計55議案を上げし、人事に関する議案については原案のとおり同意され、その他については、各常任委員会に付託しました。

二日目に、一般質問が行われ、12人の議員が、行政上の問題をたどりました。

最終日には、各常任委員長報告の後、採決が行われ、各常任委員会に付託した全議案及び追加議案1件を原案どおり可決しました。

その他、決議案2件を可決しました。

●平成21年度モーターポート競争特別会計予算  
1日平均売上げを1億112万円と見込み、対前年度比7.2%増となる26億7千万円を計上しています。

審査の過程で、今後の見通しはどのように見込んでいるのかに対しては、

本場での売上げは年々減少しているが、場間場外については、売上が伸びている状況になる。今しばらくは、損失を出さないよう、あらゆるものを含めて検討することとした。

●議案外

消防庁舎の建設候補地の取得について、県住宅供給公社が所有する花乃杜団地付近の土地を候補として、用地交渉の経過報告がありました。有効面積5千㎡を購



既設の防災行政無線

入したい。取得価格は造成費分が必要となるが、用地取得費を議会との協議が整えば、次回の議会において、補正で対応したいとのことでした。

利活用の案としては、1階部分を南北統合幼児園、2階部分を子育て支援センター、及びシルバー人材センター、3階部分は、事務所として考えているとのことでした。

●平成20年度一般会計補正予算(第7号)  
事業費の確定及び清算等により生じた不要額の減額が主なものです。

審査の過程で越前柿関係の補助金481万9千円の減額については、事業は順調に進んでいると思っていたが、補助を受けていなかったのは何故かとの問いには、組合員は高齢者が多く、借金をするには不安があり、事業が軌道に乗り安定するまで先送りすることです。

国土基本図作成業務委託料の落札率が57.3%であったことについて、最低制限価格は設けていないのかとの問いには、条件付一般競争入札は設けているが、指名競争入札は設けていないとのこと

です。なお、条件付一般競争入札の対象は、3千5百万円以上とのことでした。

産業建設常任委員会

●平成21年度一般会計予算

農林水産課所管では農地集積実践事業補助金は21年度は蓮ヶ浦と北稲越への補助を予定しています。

今まで国100%の補助事業であったが、市町村に負担を求めてきており、21年度は市が4分の1を補助することになり、国は事業の終結を考

えているとのことでした。本市でも集積率5割を超えており、終息してき

たと判断しているとのこと

です。

鳥獣害防止について東部地区は固定柵の予算が計上されているが、西部地区の丘陵地においてハクビシンの被害を聞いて

いるが対策を講じているのかとの問いには、小動物用の捕獲の檻を10基所有しており、貸し出しを行っている。県や農家組合と連携して対策を取って行くこと

です。観光工課所管では緊急雇用対策のツアーデザインセンター事業については、観光協会イコール旅館組合とのイメージが強い

ため21年は事務局長相当の人、22年は職員2名計3名を配置し、3人分の人件費を捻出できる組織にしてい

く。また観光協会の事務所は湯のまち駅舎を改装して設置すること

教育厚生常任委員会

●平成20年度一般会計補正予算(第7号)

市民生活課所管では、

指定ゴミ袋の製作費用約600万円の減額は、平成20年度当初に原油高騰を見込み、予算を計上したが、袋の厚さを薄くするなど原材料費を抑えた結果、安い価格で落札し、それにより生じた入札差金とのこと

です。コミュニティバスの運行見直しは、業者との契約が平成23年度までの5年契約のため現時点での改正は困難

です。路線バスとの料金格差については、是正するよう検討したいとのこと

です。また、バスにこだわらず、タクシーの導入も検討してほしい旨の要望がありました。えちぜん鉄道の経営支援の見直しについては、料金が安いため大幅な金額増にはなっていない。経営努力はさらに要請していくとのこと

健康長寿課所管では、

ガンの早期発見、医療費抑制にもつながる定期検診、ガン検診のPRを積極的に

行ってほしいとの強い要望がありました。

教育総務課所管では、国際交流派遣事業は、成果報告だけで終わるのではなく、将来的に実を結ぶ事業であってほしいがどうかとの問いには、

メールのやり取りや、メールでの友達紹介などをして

いる事例もある。また、語学の専門大学に進学する生徒もいるよう

で、少しずつはあるが着実に芽は広がっているとのこと

です。文化学習課所管では、吉崎の御山の松くい虫駆除では、伐採した松の木

●平成20年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

平成23年度から国保基金が厳しくなることから、

国保税を上げることが考えられるが、

県内他の状況も見極めたい。税率を改正する際には、

応能・応益割の見直しも検討したいとのこと

です。

●平成20年度金津雲雀ヶ丘寮特別会計補正予算(第3号)

入所者の増加で、ナースコールの対応に苦慮していることから、携帯電話と連動させるナースコール電話連動システムを導入し、

る。また、ギャル神輿や法被を揃えたいとのこと

です。全国規模の大会を積極的に誘致すれば、あわら温泉も利用してもらえるのではないのかとの問いには、

全国植樹祭に1350名のお客様が宿泊するとのこと

です。建設課所管では、市道重義国影線歩道改良工事について、歩道幅員3mは、

必要なかとの問いには、この路線は金津三國線の導線にあり、温泉市街地と本荘を結ぶルートとして国の採択を受けたもので、

自転車も通れる歩道とのこと

です。下金屋跨道橋調査設計委託料について、

跨道橋は本当に必要なか、地元からの要望があるのかとの問いには、

日常的に頻繁に使われる橋ではなく、迂回路もあり地

成制度が有る無しに関わらず、助成するべきであるとの意見がありました。不法投棄ゴミ撤去委託料は、



市道 重義国影線

元から要望はないが、中日本高速道路(株)からの補修要望であるとのこと

を建替える予定であるかの理由が多いとのこと

です。市道重義国影線

のPRは出来ると考えているとの答弁

です。尚、約5千本を製造した旅館での販売も検討している

とのこと

●平成21年度一般会計補正予算(第7号)

市民生活課所管では、

指定ゴミ袋の製作費用約600万円の減額は、平成20年度当初に原油高騰を見込み、

予算を計上したが、袋の厚さを薄くするなど原材料費を抑えた結果、安い価格で落札し、それにより生じた入札差金とのこと

です。コミュニティバスの運行見直しは、業者との契約が平成23年度までの5年契約のため現時点での改正は困難

です。路線バスとの料金格差については、是正するよう検討したいとのこと

です。また、バスにこだわらず、タクシーの導入も検討してほしい旨の要望

がありました。えちぜん鉄道の経営支援の見直しについては、料金が安いため大幅な金額増にはなっていない。経営努力はさらに要請していく

●平成21年度あわらし一般会計予算

市民生活課所管では、

太陽光発電導入促進事業補助は、

2年前に県の助成廃止に伴い、市も助成を取り止めたが、

市の状況も見極めたい。税率を改正する際には、

応能・応益割の見直しも検討したいとのこと

です。

●平成21年度あわらし一般会計予算

市民生活課所管では、太陽光発電導入促進事業補助は、

利便性を図り、通いやすい環境整備をしたいとのこと。です。

### ●公の施設の指定管理者の指定

指定管理者となった幼児園、保育所の各法人は、積立もしており、運営は順調にいらっているとのこと。です。

### ●国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、条例の制定

これらについては、特段、質疑はありませんでした。

### ●議案外

余熱館やさおかが工事内容競争で、開館が更に遅れて11月になることについて、今後、このようなことが起きないようにとの強い要望が

ありました。

一般質問での市長答弁における「芦原中学校体

育館の改築が改修は執行権の範囲である」との発言は、11月臨時議会の議決をほごにするものであると強い批判が出ました。これに対し市長は、「議会として改修か改築かの明確な意思決定がされていない。意思決定があればそれを尊重する。」と答弁しました。

### ●あわら市中学校整備に関する陳情

陳情書については、委員

一人一人から意見を聞きました。

特に、芦原中学校体 育館整備要望の、「天上の高さの確保(12・5m)パレールボール公式試合を行う際の基準となる高さ」及び「床面積の確保(ゆとりあるバスケットボールコート2面)」について意見が集中し、高さについては、金津中学校も確保できない。また、面積については、ゆとりはないが、2面は確保できる。授業、部活動においては支障がない。体育館改修は機能の判断ではなく、あくまでも耐震診断の結果で判断するべきとの意見が多数でした。

### ●あわら市中学校整備に関する陳情

陳情書については、委員

一人一人から意見を聞きました。特に、芦原中学校体 育館整備要望の、「天上の高さの確保(12・5m)パレールボール公式試合を行う際の基準となる高さ」及び「床面積の確保(ゆとりあるバスケットボールコート2面)」について意見が集中し、高さについては、金津中学校も確保できない。また、面積については、ゆとりはないが、2面は確保できる。授業、部活動においては支障がない。体育館改修は機能の判断ではなく、あくまでも耐震診断の結果で判断するべきとの意見が多数でした。

### ●あわら市中学校整備に関する陳情

陳情書については、委員

## 一部事務組合等報告

### 坂井地区 介護保険広域連合議会

2月12日定例会が開催されました。

上程された議案は予算に関するもの4件、条例の制定に関するもの3件で全て可決されました。平成20年度特別会計補正予算については、国の2次補正を受け、介護従事者処遇改善臨時特別交付金の積み立てや、保険給付費等の補正を行ったもので、歳入歳出それぞれ1億2千716万2千円を減額し、歳入歳出の総額は、80億1千433万8千円となりました。平成21年度特別会計予算については、歳入歳出それぞれ82億3千73万8千円とし、主なもの

は、平成21年度から平成23年度までの、第4期介護保険事業計画に基づき、保険給付費78億

一人一人から意見を聞きました。

特に、芦原中学校体 育館整備要望の、「天上の高さの確保(12・5m)パレールボール公式試合を行う際の基準となる高さ」及び「床面積の確保(ゆとりあるバスケットボールコート2面)」について意見が集中し、高さについては、金津中学校も確保できない。また、面積については、ゆとりはないが、2面は確保できる。授業、部活動においては支障がない。体育館改修は機能の判断ではなく、あくまでも耐震診断の結果で判断するべきとの意見が多数でした。

### ●あわら市中学校整備に関する陳情

陳情書については、委員

一人一人から意見を聞きました。特に、芦原中学校体 育館整備要望の、「天上の高さの確保(12・5m)パレールボール公式試合を行う際の基準となる高さ」及び「床面積の確保(ゆとりあるバスケットボールコート2面)」について意見が集中し、高さについては、金津中学校も確保できない。また、面積については、ゆとりはないが、2面は確保できる。授業、部活動においては支障がない。体育館改修は機能の判断ではなく、あくまでも耐震診断の結果で判断するべきとの意見が多数でした。

### ●あわら市中学校整備に関する陳情

陳情書については、委員

### 坂井地区 介護保険広域連合議会

2月12日定例会が開催されました。

上程された議案は予算に関するもの4件、条例の制定に関するもの3件で全て可決されました。平成20年度特別会計補正予算については、国の2次補正を受け、介護従事者処遇改善臨時特別交付金の積み立てや、保険給付費等の補正を行ったもので、歳入歳出それぞれ1億2千716万2千円を減額し、歳入歳出の総額は、80億1千433万8千円となりました。平成21年度特別会計予算については、歳入歳出それぞれ82億3千73万8千円とし、主なもの

は、平成21年度から平成23年度までの、第4期介護保険事業計画に基づき、保険給付費78億

## 特別委員会報告

### まちづくり調査特別委員会

2月17日に委員会を開催しました。

委員会は、商品券の利用範囲、商工会加盟店の波及効果等についての質問が出されました。商工会によると、先ず、商品券の利用範囲については、約900の加盟店はもろろん非加盟店についても募集を行い、多くの店で利用できるよう取り組みたいとのことでした。また、商工会加盟店独自の付加価値の取り組みについては、このことが商店街への波及効果に通じることでもあり、積極的な取り組みを考えているとのこと。また、すでに芦原温泉旅館協同組合をはじめ、各加盟店でも検討を行っているとのこと。また、水槽付消火泡

委員会は、商品券の利用範囲、商工会加盟店の波及効果等についての質問が出されました。商工会によると、先ず、商品券の利用範囲については、約900の加盟店はもろろん非加盟店についても募集を行い、多くの店で利用できるよう取り組みたいとのことでした。また、商工会加盟店独自の付加価値の取り組みについては、このことが商店街への波及効果に通じることでもあり、積極的な取り組みを考えているとのこと。また、すでに芦原温泉旅館協同組合をはじめ、各加盟店でも検討を行っているとのこと。また、水槽付消火泡

### ●あわら市中学校整備に関する陳情

陳情書については、委員

一人一人から意見を聞きました。特に、芦原中学校体 育館整備要望の、「天上の高さの確保(12・5m)パレールボール公式試合を行う際の基準となる高さ」及び「床面積の確保(ゆとりあるバスケットボールコート2面)」について意見が集中し、高さについては、金津中学校も確保できない。また、面積については、ゆとりはないが、2面は確保できる。授業、部活動においては支障がない。体育館改修は機能の判断ではなく、あくまでも耐震診断の結果で判断するべきとの意見が多数でした。

### ●あわら市中学校整備に関する陳情

陳情書については、委員

### 嶺北消防組合

3月26日定例会が開催されました。

平成21年度一般会計予算1議案が上程され原案どおり可決されました。一般会計歳入歳出19億7千653万円と定め、対前年比4千299万3万円増となっています。あわら市の分担金は4億7千737万円です。平成21年度の施設整備事業として、三國消防署は耐震補強、嶺北署、丸岡署は耐震診断が予定されています。

平成21年度から2カ年で坂井市春江総合支所4階を本部事務所として改修する消防本部移転改修と併せて通信指令システムが運用開始から13年経過し老朽化が進んでおり、21年度から2カ年をかけシステムを更新することです。

しているとのことでした。今回のプレミアム商品券は、プレミアム分が20%と大きく、市民の関心も高まっているところでもあります。委員会としても、これを契機に市民の消費拡大を喚起し、少しでもあわら市の商店街の活性化に繋がるよう期待しているところ。です。

委員会としても、これを契機に市民の消費拡大を喚起し、少しでもあわら市の商店街の活性化に繋がるよう期待しているところ。です。



また、水槽付消火泡防ポンプ車更新、あわら消防団第4分団ポンプ車更新の各事業が示されました。最後に、金津署の建替えの基本設計委託料は今後、補正予算で対応したいとのこと。です。

# 市政について問う!

3月の定例会では、12名の議員による一般質問が行なわれました。  
ここでは、質問と答弁の要旨を掲載します。(順不同)

■政府の75兆円の経済対策に対する取り組みについて  
宮崎 修 議員

問

・補正予算、新年度予算はどのような設計図を描いたのか。  
・地域経済活性化につながるべく市長の決意とその具体策について  
・ふるさと雇用再生特別交付金」と「緊急雇用創出事業」の市への配分と市の取り組みについて  
・地域活性化の取り組みについて

答

3月補正予算では、定額給付金支給事業に係る給付金などで4億8千372万8千円及びプレミアム商品券発行補助金2千250万円の、合計5億622万8千円を計上しています。  
平成21年度当初予算では、ふるさと雇用再生特別基金事業として、あわらツアーデザインセンター事業を始めとする3事業で1千57万1千円を計上し、今後の補正でも1事業を追加する予定です。  
定額給付金に伴う地域経済活性化策については、あわら市商工会が主体となっており、20%のプレミアムを付加した「あわら・ワクワク・プレミアム商品券」を3月15日に発行します。

景気が低迷している中、本市のプレミアム商品券は、あわら市民以外の方でも購入ができるので、商品券の発行が地域経済活性化の起爆剤となることを期待しています。  
ふるさと雇用再生特別基金事業の本市への配分は、3年間で6千600万円が予定されています。  
この事業の実施により、3年間で19人の雇用創出を見込んでいます。  
緊急雇用創出事業の市への配分は、2月の臨時会で補正された事業額を含めて3年間で3千500万円が予定されています。

問

・根本的な打開策を打ち出すことは、急務であると感じますが、どう考えるか。

答

平成21年度の芦原中学校は、生徒数が399人、普通学級の編成は1学年が5クラス、2学年が4クラス、3年生が5クラスの計14学級となります。単純に比較は困難ですが、総事業費14億4千万円余りの工事費での改築は不可能であると考えます。  
また、金津中学校につきましても、体育館の改築は、越前町の朝日中学校と比較した場合、解体工事等も発生することから4億3千200万円での改築は困難であり、校舎についても、前の改修では、電気、給排水設備、備品などはほとんどが未着工であり、更に、耐震補強工事に3億6千500万円程度の費用も必要ことから、6億1千800万円での改修も不可能であると考えます。

## ■ゴミ対策について

牧田孝男 議員

問

平成20年度のごみ処理における予算は、ゴミ袋等からの処理手数料を差し引いても、5億円近くの財源が必要となっていることから、地域ぐるみのボランティアによる回収をお願いしたいと考えています。

答

平成20年度のごみ処理における予算は、ゴミ袋等からの処理手数料を差し引いても、5億円近くの財源が必要となっていることから、地域ぐるみのボランティアによる回収をお願いしたいと考えています。  
また、空き缶等の自動回収機を利用したポイント制度も、不法投棄を抑制する効果が期待でき、市民の環境美化意識の向上も期待できると思われますが、高価な回収機を複数台用意すること、導入後の管理経費が持続して発生すること、金属価格の低迷により回収した缶等の処理費用が見込まれることなど、相当な予算措置が必要になると思われる。

## ■市長の公約に対しての実践度について

■市長お出かけトークについて  
■MCA無線（防災行政無線）について  
坪田正武 議員

問

若い世代が住み、産み、育ててくねるまちづくりについて  
市民感覚で透明な行政運営について  
第二の合併を視野に入れた市政について

答

まちづくりについては、平成21年度から実施予定をしている「乳幼児に対するインフルエンザ予防接種の助成制度」や「勤労者のマイホーム購入資金に対する利子補給金の適用範囲の拡大」、「ブックスタート事業」などは、これまで検討してきたことが実を結んだものと思っています。  
また、透明な行政運営を実現するために平成20年度は、各部ごとの重点目標を定めました。各部長の重点目標は、3月中には年間の達成度を公表します。  
最後に、あわら市にとって必要なことは、合併を視野に入れた行政運営であり、合併を前提とした行政運営では

## ■地名の保存、活かし方について

大下重一 議員

問

・「金津」「芦原」の地名は消滅させず、活かすべきであるがどうか。

答

合併後5年を経過して、すでにあわら市の施設として名称が定着し、市民の皆さんにもこれが浸透していることを考えると、ここで更に条例を改正して施設の名称を変えることは、難しいと考えます。  
道路案内標識については、市民の皆さんのご意見や福井県などの関係機関との協議などを踏まえた上で、適当かどうか検討したいと思えます。  
通りや橋の名称に関しては、法令で決まった手続きにより定められるのではなく、通称として橋の欄干などに付けられるので、市民の皆さんがこれに旧町名を冠して呼んだり、表現したりすることは差し支えないと思えます。  
ただし、現在、取り付けられている銘板等をそうした表記に更新することは、これらの名称がすでに広く浸透していることや、費用の面などから、現時点では変更は難しいと考えます。  
今後は、まちづくり基本条例でもう

ありません。新たな準備を始めることは、誕生5周年を迎えたあわらしにとって、適当でないと考えます。

**問** 芦原中学校及び金津中学校の大改修にUSJ

**答** 今後の方針については、ご承認をいただいた整備方針のとおり、基本設計を行っています。

現在のところ、両中学校ともに、平成21年度内の着工、平成23年4月の供用開始を目指し、事務を進めたいと考えています。

また、金津中学校部活動でのトリムパーク施設の利用については、授業終了後、トリムパークまで走って行くことや、帰りは保護者の迎えが必要なことなど、問題はありますが、市内施設を有効利用しているという面もあります。

**問** 今後、トリムパークの利用については、再度学校内においても検討し、利用の是非を判断したいと考えています。

**答** メリットとしては、既設のものを、そのまま利用することから、工事費約2千700万円の経費削減が見込まれます。

**問** デメリットとしては、MCA方式と既設の防災行政無線とを運動するシステムを、既設の防災行政無線を整備した業者と随意契約を締結する必要があります。

**答** 長自ら現場を視察して対応できないか。

就任して現在まで、まだ2回しか実施をしていないので、現段階では、その結果を報告することは困難です。

しかし、各地区や他の集会等には、積極的に出席しています。市民の皆さんとの直接対話は、市民の目線に立った行政運営を進める上で大変参考になるもので、今後も積極的に取り組みたいと思っています。

また、すべての現場を視察することは、難しいと思いますが、市民の皆さんの生活に直結する重要な案件については、担当課とも十分協議し、要望に応えるよう努力しています。

**問** アナログ式を併用しての整備のメリット・デメリットは何か。

**答** 今年度の1月末現在で、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの合計が前年同月比で約540t減量されています。全市民が毎日1000g減量すると約1千100tになることから、進捗率は約49%です。

**問** 市内全地区で推進員を委嘱していますが、平成21年に委嘱した推進員の数は192名で、そのうち男性が95名、女性が97名のほぼ同数です。

市では、1日1000gのごみ減量運動の中でマイバッグの持参を呼びかけていますが、ご指摘のとおり、ごみ減量等推進員を通じて家族ぐるみのマイバッグ推進運動をお願いして、より効果的な方策を検討したいと考えています。

**■国保税引き下げと減免の拡大(USJ)**  
**■介護保険(USJ)**  
**■中学校整備(USJ)**  
山川二郎 議員

**問** 国保の現状について  
・高し保険税の認識(USJ)  
・資格証の発行はやめるべきであると考えるがどうか。

**答** 1月末現在の加入世帯数は4千191世帯で、市全体の約41%の世帯が加入、また、被保険者数においては7千387人で市全体の24%の人が加入しています。

一人当たりの保険税額については、7月1日現在で約10万6千円と、県内の市では一番高い保険税額となっています。

平成19年度の医療費の状況を見ると、一般被保険者の一人当たりの医療費が約26万8千円と、県内では2番目に高く、また、退職被保険者では一人当たり44万3千円で、県内で一番高くなっています。

このような状況の中、国保会計の財政は大変厳しく、ここ数年は基金を取り崩しての運営を強いられています。

で、国保税の引き下げについては、難しいと考えています。

また、減免の拡大については、「税の公平性の確保」の観点から、これ以上の拡大は難しいものと考えています。

資格証の発行については、収納率の向上を目的として行っているものではなく、国保事業運営の独立性、健全性並びに公平性を保つために、やむなく行っています。

**問** 特養のユニットケア施設の利用率1ヶ月15万円をどう考えるか。

**答** 雲雀ヶ丘寮のユニット型個室に入所するとした場合、住民税課税世帯で、自己負担額14万5千710円、住民税非課税世帯では6万4千410円となります。

隣市のユニット型個室の料金設定を考えると、金津雲雀ヶ丘寮の利用者料金については、妥当だと考えます。

今後、施設整備に関しては、地域密着型の個室、ユニットケアが基本となることに変わりはないと認識しています。

しかし、多床室型の強い要望があることは十分理解しています。

今後は、旅館組合や観光協会、農協などの関係機関とも十分な協議を重ね、提案の「地産・地販」が効果的に実現できるよう、効率的な取り組みを進めたいと考えています。

例えば、「あわら産」であることをアピールするための「統一ステッカー」を作成することについては、その効果も期待できることから、前向きに検討したいと思っています。

**問** 中心市街地での歩道整備の進捗状況(USJ)

**答** 温泉街の中心部では、まちの景観に十分配慮した形で歩道整備が必要となります。

そのため、事業化には、温泉街に住む人にとっても住みやすく、観光客にも楽しんでいただけるような、総合的な、まちづくりの観点から整備すべきであると考えています。

しかし、多額の経費が必要であり、財政的に厳しい現状では、直ちに取組むことは困難です。

平成21年度から予定している市町振興プロジェクトの中で、まちづくりの方向性について協議し、ソフト事業やハード事業の具体的な計画が出た段階で、検討したいと考えています。

広域連合や関係機関を通じて、国に対して要望したいと考えています。

**問** 11月臨時議会にて25億円以内でも芦原中学校体育館は改築(USJ)する議案を提出した理由は何か。

**答** 現在示されている基本設計で、PTAから出されている陳情書にある高さや広さは確保されるのか。予算の範囲内で、芦原中学校体育館を改築(USJ)。

私としては、教育委員会からの要望であったリノベーション工事をベースとした整備を行いたかったところですが、耐震性や老朽化等から早期の整備を求められている両中学校の現状を勘案し、できるだけ多くの議員のご理解を得られるような形で提案をさせていただきます。

PTA連合会からの要望につきましては、リニューアル改修という一定の範囲の中で、高さや広さを確保するというのは無理であると判断しております。

今後の課題として、芦原中学校の改築・改修は執行権の範囲内であると考えております。

問 具体的な下ジモンについて

21年度では、ソフト事業を中心にマイホーム購入資金に対する利子補給制度の拡大など新たな事業を展開する予定です。

そこに住む人が楽しく安心して過ごせるまちづくりも重要なことであり、次年度では県との連携により、「市町振興プロジェクト」を定め、湯のまち駅前活性化対策を推進する計画です。このプロジェクトでは、「あわらし温泉の魅力づくりと誘客推進体制の整備」を基本に、湯のまち駅前の遊休地や湯のまち駅舎を中心とした観光拠点の整備、街路灯の更新など、国、県の補助制度を活用しながら、住みよくなるまちづくりをハード面からも実現しようとしていきます。

問 若い世代が住み、産み、育てたくなるまちづくりについて

総合型地域スポーツクラブ JCSN 八木秀雄 議員

市民への解かりやすい説明の実施と具体的な政策について

あわらし市で生まれ育った子どもたちが大人になっても住み続けること、就学などでいったん県外に出た後も再び戻ってくることに、さらにあわらし市以外の市町村で生まれ育った若者がこのまちに住み、そして、安心して子育てができることを目指すもので、現在の社会状況とあわらし市の置かれた地理的条件などを考えると、きわめてハードルの高い課題で、短期的に解決できる特効薬はないと思います。

しかし、今こそ、地域間競争における自治体としての知恵の見せ所ではないかと考えます。なお、庁内プロジェクトチームからは、施策を進めるためには、まず「住んでもらうこと」が先決との報告を受け、特に平成21年度は「定住」に力をかけています。そして、以後、徐々に「産み、育てる」へと政策を拡大しながら、公約の実現を目指したいと考えます。また、こうした定住や子育ての支援策を皆さんに知っていただくために、市のホームページに専用のコーナーを設けるなどして、積極的に制度をPRしたいと考えています。

問 総合型地域スポーツクラブ検討部会の進捗状況について

行った箇所について平成19年度で100m、本年度で60m実施しており、2月末現在の施工延長は約2.8kmで進捗率は58%となっています。東道福井・金津線コースについては、計画区間となっており、平成21年度の整備予定もないとのこと。市としても、全コースが整備され、石川県側の大規模自転車道「加賀回廊」と結ばれ、より広域的な観光ネットワークの形成が図られるよう強く望んでいます。

東道福井・金津線の改良工事については、北潟湖東側の観音川河口付近から吉崎地区にかけて、いくつかの道路改良の計画案が検討された経緯もありますが、現在、確定した改良計画は無いと聞いています。吉崎地区から加賀市塩屋町に続く道路整備については、加賀市建設部整備課に確認したところ、吉崎町や塩屋町周辺の自然環境保護の観点から実施の予定は無いとのことでした。

ご質問の1点目と2点目につきましては、県も当市も厳しい諸情勢の中ではありますが、県当局には、今後も引き続き要望して行きたいと考えています。また、加賀市側の道路整備についても今後、越前・加賀みずと湯の文化連邦推進協議会等の中で、加賀市に

設立に向けて、あわらし市の独自案はあるのか。

21年度については、設立準備委員会を結成し、規約や組織などのクラブの創設に必要な準備作業を行いながら、22年3月のクラブ設立を目指し進めています。クラブの設立について、市は市民の運営による多世代型のスポーツクラブの設立を促進し、新しい流れの中でのスポーツ活動ができるよう側面から支援したいと考えています。

問 当初予算における大幅な土木費の減額について 笹原幸信 議員

地区の要望のほとんどは土木に対する要望であるが、予算減額に対してどう考えるか。

平成21年度予算編成にあたっては、小中学校の耐震改修を含む建築工事が多額となるため全般的に減らした予算編成となっています。また、土木費の予算編成については、対前年度比3億6千万円、率にして22.3%の減です。

問 学校教育の教育内容全般について 北島 登 議員

市の教育に対する予算編成と全般的な考え方、主な取り組みについて パソコン、携帯電話の指導と取り組みについて

平成21年度当初予算編成にあたっては、次の4点を重点施策として設定しました。1点目は「子供たち一人ひとりに教師、保護者、地域の目が行き届く教育の実施」、2点目は「児童・生徒の安全・安心と、よりよい教育環境を確保するための学校整備」、3点目は「小学校が平成23年度、中学校が平成24年度から本格実施される新学習指導要領に向けた取り組み」、4点目は「教職員へのパソコン配置」です。

教育委員会としては、これらの施策を中心に、学校だけでなく、家庭や地域がそれぞれ力を合わせて、ふるさと「あわらし」を愛し、未来の「あわらし

先月開催された臨時会で承認された、経済対策による前倒し予算2千万円は、実質の執行が平成21年度となるもので、これと平成21年度当初予算4千万円を合わせた6千万円を、前年予算7千万円と比較すると1千万円のみ減額となる予算編成となっています。

問 門型側溝整備の要望が満たされていないが、どのように対処するのか。この整備に対する予算の配分はどうなっているか。現在の整備率はどのようになっているのか。

今のペースで進むと要望を満たすのに何年かかるのか。門型整備はコストが高く、コストを下げ整備率を上げる施工方法ははないのか。

答 門型側溝整備箇所については、下水道整備済地区、道路幅員の狭い箇所、電柱移転が可能な箇所、また、門型側溝整備率の低い集落を重点に施工しています。

地区要望の最上位にランクされている門型側溝の整備率は、市全体では34.3%で、事業費にして1億円を投入したとしても完了までに66年かかることから、整備率の向上とこれからの維持管理のことを考えると、門型側溝に

を担う子供たちの育成に努めていきたいと考えています。携帯電話等の取り扱いについては、児童・生徒が、「出会い系サイト」等のインターネット上の有害な情報に携帯電話等からアクセスし、犯罪に巻き込まれる事件も起こっています。

本市でも、早い時期から、校長会等で、情報モラル教育の実践、携帯電話の「原則」学校への持込禁止」を指導してきました。特に、昨年9月には、各校長あてに「その取り組みの徹底」について通知をしています。

いじめ等の状況と取り組みについては、各学校で、児童・生徒に対し、定期的に学級担任や他の教職員、スクールカウンセラー等の各種相談員が状況把握と指導にあたり、カウンセリングや保護者との連携なども行い、早期発見に努めています。また、日頃から、道徳の授業や学級活動、児童・生徒会活動等において、いじめ問題を取り上げ、教育相談体制の充実を図っています。

教育委員会としても、スクールカウンセラー、不登校指導員等の配置を行うとともに、昨年の12月に、各校長あてに、いじめの早期発見、早期対応に努めるよう通知を行っています。

問 サイクリングロード工事の進捗状況について

東道福井・金津線の改良工事について 吉崎地区からの加賀市・塩谷町に続く道路整備について

全体の計画としては、北潟湖南周遊コースが3.7km、国道305号コースが4.8km、東道福井・金津線コースが5.1kmで、合計延長が13.6kmの計画となっています。現在の進捗状況ですが、国道305号コースは整備中であり、用地買収を

問 北潟湖周辺の公園・花菖蒲園・蓮如の里の活性化とそのアクセス環境について 丸谷浩二 議員

限らず、排水機能を果たせる整備法も取り入れながら、整備率の向上を図りたいと考えます。今後の道路行政の進め方については、財政の収支均衡を念頭におきながら、課題克服に向けて積極的に取り組むとともに、市街地と村部のバランスにも配慮したインフラ整備を進めたいと考えています。

行った箇所について平成19年度で100m、本年度で60m実施しており、2月末現在の施工延長は約2.8kmで進捗率は58%となっています。東道福井・金津線コースについては、計画区間となっており、平成21年度の整備予定もないとのこと。市としても、全コースが整備され、石川県側の大規模自転車道「加賀回廊」と結ばれ、より広域的な観光ネットワークの形成が図られるよう強く望んでいます。

東道福井・金津線の改良工事については、北潟湖東側の観音川河口付近から吉崎地区にかけて、いくつかの道路改良の計画案が検討された経緯もありますが、現在、確定した改良計画は無いと聞いています。吉崎地区から加賀市塩屋町に続く道路整備については、加賀市建設部整備課に確認したところ、吉崎町や塩屋町周辺の自然環境保護の観点から実施の予定は無いとのことでした。

ご質問の1点目と2点目につきましては、県も当市も厳しい諸情勢の中ではありますが、県当局には、今後も引き続き要望して行きたいと考えています。また、加賀市側の道路整備についても今後、越前・加賀みずと湯の文化連邦推進協議会等の中で、加賀市に

## 議会日誌

2月2日 議会運営委員会

全員協議会

13日 全員協議会

17日 まちづくり調査特別委員会

19日 中学校建設調査特別委員会視察

24日 議会運営委員会

全員協議会

3月2日 第37回議会定例会開会

9日 第37回議会定例会・一般質問

広報編集特別委員会

10日 総務常任委員会

11日 産業建設常任委員会

12日 教育厚生常任委員会

13日 総務常任委員会

16日 産業建設常任委員会

17日 教育厚生常任委員会

19日 教育厚生常任委員会

23日 議会運営委員会

24日 全員協議会

教育厚生常任委員会

第37回議会定例会閉会

30日 広報編集特別委員会

4月7日 広報編集特別委員会

※おもな会議のみ掲載

## ふるさと探訪

## 衣かけの大杉

細呂木・沢地区の春日神社にあわら市指定の天然記念物「衣かけの大杉」があります。

「衣かけの大杉」一円の歴史については、細呂木川の流域は土壌が肥沃で古来より田んぼが開けて、奈良時代には村々が形成されました。

沢の春日神社については、平安時代初期、醍醐天皇が保呂呂伎神（ほそるぎのかみ）に神位を贈られ社は郷を守る式内社となりました。その後平安時代後期に白川上皇が、細呂宜郷（ほそるぎごう）と旧坂井町の九つを奈良の興福寺へ寄進し、各郷に春日神社を勧請（かんじょう）して河口庄の十郷十社となりました。

「衣かけの大杉」の生えている場所については、春日神社の参道入口の東側に生えており、あわら市指定の天然記念物となっています。樹周り4m、樹高15m、地上2mの高さのところ大きな枝を四方に垂れ、南側の枝は風雨にさらされ変色しています。この杉の種類は「アシウスギ」で雪が多く積もっても枝が折れずに垂れ下がり、時には垂れ下がって着地したところから初根してあらたに更新することがあるそうです。

「衣かけの大杉」の名前の由来は、平安時代、沢の春日神社の前にみそぎをした池があったとのこと。その池で社人、社僧が衣をこの大杉の枝にかけて、池の水で身を清めたことから「衣かけの大杉」と呼ばれるようになりました。



衣かけの大杉

## 編集後記

3月議会での一般質問での市長答弁や挨拶の中で発言された「錯誤」、「論破」という言葉は、一見スマートフォンに受け取れますが、発言の前後を考えると相手のことを侮辱していることだと思います。

それは、中学校整備については、すでに議決されているからです。問責決議案を採択しなければならなかった事、また、それ以上の発言であったということ。市長は真摯に受け止めるべきであると思います。

ましてや「論破」という言葉で反論しているが、首長と議会のあり方の問題であると思われる。

言葉ではなく、市民に正直に向かい合い言動すべきであると考えます。

少なくとも、私達議員は、真摯に市民に向き合っていると声高に言えます。

(向山)

## 市議会広報編集特別委員会

委員長 向山信博

副委員長 牧田孝雄

委員 八木秀一

委員 大原幸一

委員 篠崎重一

委員 宮崎修

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、紙面作りを目指しています。ご意見、ご感想をお待ちしております。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局  
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.fukui.jp